

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0413	(公財)松山国際交流協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	2
0413	国際交流推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	3
0413	国際観光客誘致促進事業(台湾友好交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	4
0413	国際観光客誘致促進事業(多言語パンフレット作成)	産業経済部	観光・国際交流課	5
0512	東道後温泉郷春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	6
0512	松山を楽しもうキャンペーン事業	産業経済部	観光・国際交流課	7
0512	観光WEBプロモーション事業	産業経済部	観光・国際交流課	8
0512	鹿島春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	9
0512	風早海まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	10
0512	松山春まつり事業	産業経済部	観光・国際交流課	11
0512	松山野球拳おどり事業	産業経済部	観光・国際交流課	12
0512	松山港まつり・三津浜花火大会事業	産業経済部	観光・国際交流課	13
0521	伊予耕産業振興事業負担金事業	産業経済部	観光・国際交流課	14
0521	国際観光客誘致促進事業(松山国際観光客誘致推進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	15
0521	国際観光客誘致促進事業(愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	16
0521	国際観光客誘致促進事業(愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	17
0521	国際観光客誘致促進事業(松山空港利用促進協議会負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	18
0521	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業	産業経済部	観光・国際交流課	19
0521	放生園管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	20
0521	権現温泉管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	21
0521	四国のみち管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	22
0521	松山はいく事業	産業経済部	観光・国際交流課	23
0521	誘客促進・観光おもてなし事業	産業経済部	観光・国際交流課	24
0521	鹿島賑わい活性化事業	産業経済部	観光・国際交流課	25
0521	修学旅行誘致促進事業	産業経済部	観光・国際交流課	26
0521	広域・観光交流事業(観光交流事業)	産業経済部	観光・国際交流課	27
0521	広域・観光交流事業(四国観光立県推進愛媛協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	28
0521	広域・観光交流事業(四国四市観光誘致促進協議会事業)	産業経済部	観光・国際交流課	29
0521	広域・観光交流事業(広域観光連携推進協議会)	産業経済部	観光・国際交流課	30
0521	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)	産業経済部	観光・国際交流課	31
0521	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR四国協定負担金)	産業経済部	観光・国際交流課	32
0521	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(負担金・補助金を除く)	産業経済部	観光・国際交流課	33
0521	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)	産業経済部	観光・国際交流課	34
0521	クルーズ船誘致・受入推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	35
0521	坊っちゃん列車運行支援事業	産業経済部	観光・国際交流課	36
0521	MICE誘致促進事業	産業経済部	観光・国際交流課	37
0521	広域連携による誘客推進事業	産業経済部	観光・国際交流課	38
0521	渡船管理事業	産業経済部	観光・国際交流課	39
0599	観光総務事務事業(日本観光振興協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	40
0599	観光総務事務事業(道後にきたつの路日曜朝市開催事業)	産業経済部	観光・国際交流課	41
0599	観光総務事務事業(愛媛県観光物産協会運営事業)	産業経済部	観光・国際交流課	42
0599	観光総務事務事業(JR松山駅観光案内所業務)	産業経済部	観光・国際交流課	43

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887
------	-------	-----	----------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	(公財)松山国際交流協会運営補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0413					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	多様な価値観が認められるまちづくりの推進	根拠法令	松山市補助金等交付規則		
主な取組	国際交流・多文化共生の推進				
目的・背景	【目的】 ・(公財)松山国際交流協会は、市民や在住外国人が広く参加できる事業を実施し、在住外国人の地域への溶け込み、国際交流に貢献できる人材の育成、活用に向けたコーディネートなど、地域の国際交流の拠点として実践的な取り組みを展開しているため、当該協会の安定的な事業運営を目的とする。 【背景】 ・(公財)松山国際交流協会は、基本財産10億円の運用益で各種国際交流事業を実施していたが、金利の大幅な低下に伴い利息収入が減少し、当該協会の事業運営等に支障をきたす状況に至っていた。				
対象・内容	対象:(公財)松山国際交流協会 事業内容:(公財)松山国際交流協会へ補助金を支出。 市民レベルでの国際交流の推進に向け、地域や個人に根ざした国際交流事業や多文化共生に向けての諸事業を実施している。 ①国際体験創造事業 ②共生支援事業 ③基盤整備事業 ④もてなしの風土醸成事業 主な事業として、中学生の姉妹・友好都市への派遣、また、地球人まつりや国際交流サロンなどを通じて、国際交流を体験できるイベントを開催しているほか、日本語教室などを通じて在住外国人の支援などを行っている。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	協会の事業実施に対する負担金補助及び交付金		74,001
予算 (千円)	事業費計	101,497	113,858	116,430					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	101,497	113,858	116,430					
決算 (千円)	事業費計	78,666	74,001			主な取組 内容 【R7】	【国際体験創造】【共生支援】【基盤整備】【もてなしの風土醸成】を4つの柱とし、地域社会の国際理解を醸成するとともに、姉妹・友好都市をはじめとする諸外国との友好親善を深めた。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	78,666	74,001						
	(執行率)	78%	65%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	中学生世界体験プロジェクト講座実施回数		目標	5	5	5	5	世界の様々な国の生活や文化を学ぶほか、英語のコミュニケーションにチャレンジするなど充実した内容を企画し、予定した回数を上回る講座を実施することができた。
			実績	7	7			
	現状維持	回	達成率	140%	140%			
成果指標	中学生世界体験プロジェクト参加者数(累計)		目標	—	519	669	819	概ね目標数値を達成できたため引き続き内容の充実と周知に努めたい。 ※第7次総計に合わせて目標数値を修正
			実績	313	480			
	単年で増	人	達成率	—	92%			
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	参加者数は概ね目標数値を達成でき、国際理解のための事業を継続実施することで、国際性豊かな人材の育成に寄与した。						
課題	国際体験創造事業を維持すると同時に、地域の国際交流の拠点として増加傾向にある在住外国人に対する共生支援事業や基盤整備事業を現状に合わせて改善して行く必要がある。				今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	社会情勢や時代の変化にあわせた事業内容の見直しと改善を行うことで国際性豊かな人材の育成を継続する。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887
------	-------	-----	----------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際交流推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0413					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	－	
施策	多様な価値観が認められるまちづくりの推進	根拠法令			
主な取組	国際交流・多文化共生の推進				
目的・背景	【目的】 ・姉妹・友好都市等との交流を中心に国際交流を進展し、国際性豊かな人づくりを推進する。 【背景】 ・昭和56年のアメリカ・サクラメント市との姉妹都市提携をはじめとして、平成元年にドイツ・フライブルク市と姉妹都市提携を、平成16年に韓国・平澤市と友好都市提携を、平成26年に台湾・台北市と友好交流協定(令和6年に友好交流都市協定へ進展)を締結するなど、国際交流を推進している。				
対象・内容	対象:姉妹・友好都市等を中心とした海外の都市 事業内容:姉妹・友好都市等と交流を促進するため、各都市や民間の交流親善団体との調整を行っている。また、代表団の派遣や会議への参加、スポーツ交流などを通じて、都市間交流を促進している。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	国際交流費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	普通旅費		4,140
予算 (千円)	事業費計	15,951	16,970	15,130			表敬訪問者や現地協力 員・通訳の報償費など	2,869	
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,951	16,970	15,130		ぶどう園管理やPR用品 製作委託料など	1,944		
決算 (千円)	事業費計	9,875	10,397			主な 取組 内容 【R7】	・姉妹・友好都市等からの訪問団の受入れ 及び訪問団の派遣 ・市民への姉妹・友好都市等についてPR		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,700							
	一般財源	8,175	10,397						
	(執行率)	62%	61%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.5		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	姉妹・友好都市等への訪問者数		目標	210	210	210	210	年によって人数は変動するが、高い数値は維持できており、引き続き姉妹・友好都市等との交流を推進していく。	
			実績	235	173				
	単年で増	人	達成率	112%	82%				
成果指標	姉妹・友好都市等からの来松者数		目標	255	255	255	255	平澤市やフライブルク市の代表団など大人数の訪問団の受入れがあったため	
			実績	295	264				
	単年で増	人	達成率	116%	104%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	周年事業等の実施を含め、姉妹・友好都市等との活発な交流が行われたため。							
課題	周年事業等を通して交流への高まった機運を活かしながら、姉妹・友好都市等の交流人口拡大を目指す。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き姉妹・友好都市等との交流を深め、交流人口の拡大につなげる。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	国際交流	連絡先	948-6887
------	-------	-----	----------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (台湾友好交流事業)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	1:直営
0413					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	多様な価値観が認められるまちづくりの推進	根拠 法令			
主な取組	国際交流・多文化共生の推進				
目的・背景	【目的】 ・台北市との友好交流都市協定に基づき台北市との交流を深め、交流人口の拡大につなげる。 【背景】 ・本市では、台北市と松山区や松山空港、松山駅など、漢字で同じ“松山”の名称を持ち、また、松山市には道後温泉、台北市には北投温泉という、ともに最古といわれる温泉を有することなどを縁として、平成21年度から台北市との観光交流を始めた。 ・平成26年に台北市と友好交流協定を締結し、観光分野をはじめ、文化・スポーツ・教育・経済などさまざまな分野で交流を深めている(令和6年には友好交流都市協定に進展)。				
対象・内容	対象:台北・松山両市民 実施内容:台北市をメインターゲットとして、現地での各種イベントに観光PRブースを出展し、交流推進・観光客誘致に向けた取り組みを行う。 ホストタウンに登録されていた台湾でのスポーツ関連イベントで本市の観光PRを行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	愛媛・松山-台北・松山チャーター便共同運航協力事業体負担金		10,980
予算 (千円)	事業費計	28,765	32,745	33,332			台北市との交流打合せ等に伴う普通旅費		1,712
	国費・県費						台北市との交流打合せ等に伴う手数料		497
	市債								
	その他								
	一般財源	28,765	32,745	33,332					
決算 (千円)	事業費計	18,525	15,835			主な 取組 内容 【R7】	・台北市や松山市で行われるイベント等での観光や友好交流都市のPR		
	国費・県費	935							
	市債								
	その他								
	一般財源	17,590	15,835						
	(執行率)	64%	48%						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記 事項	事務分担の変更により、令和7年度から愛媛・松山-台北・松山チャーター便共同運航協力事業体負担金を計上		
	その他								
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	両市のイベント等でのPR ブース出展数		目標	5	5	5	5	目標は達成できなかったが、集客の多いイベントへ効率的に出展し、本市や台北市のPRをすることができた。	
			実績	10	4				
	単年で増	回	達成率	200%	80%				
成果指標	台湾からの観光客数 (年:推定値)		目標	72,000	85,000	85,000	85,000	松山から台湾の直行便が週3便運航し、乗客数が好調に推移した。	
			実績	131,200	165,100				
	単年で増	人	達成率	182%	194%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	台北市で開催されたイベント等で交流促進や観光PRを実施し、台湾からの観光客数増加に寄与した。							
課題	台北市との交流活動を通じて、更なる交流人口の拡大を目指す。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き台北市との交流を深め、交流人口の拡大につなげる。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (多言語パンフレット作成)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	1:直営
0413					
政策【分野】	自分らしさと誇りをつなぐ【共生社会・コミュニティ】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	大好きな松山で、自分らしくいられる		○	○	
施策	多様な価値観が認められるまちづくりの推進	根拠 法令	-		
主な取組	国際交流・多文化共生の推進				
目的・背景	【目的】 松山市の観光施設、イベント、特産品といった観光情報を、外国人観光客に対して分かりやすく効果的に発信し、本市を訪れる外国人観光客の受入環境を整備する。				
対象・内容	対象:本市を訪れる外国人観光客等 事業内容:観光パンフレットを多言語(英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語)で作成し、市内の交通結節点や観光案内所等で配布する。 英語版:平成27年4月～ ・中国語(繁体字)版:平成28年3月～ ・韓国語版:平成29年4月～ ・中国語(簡体字)版:平成30年11月～」は内容欄へ移動				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	松山市観光パンフレット (多言語)の印刷製本費		2,608
予算 (千円)	事業費計	1,800	3,200	0					
	国費・県費		1,600						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,800	1,600						
決算 (千円)	事業費計	3,023	2,608			主な 取組 内容 【R7】	松山市観光パンフレット(英語・繁体字・簡 体字・韓国語)の作成・配布		
	国費・県費	1,511	1,304						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,512	1,304						
	(執行率)	168%	82%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項	令和8年度から観光総務事務事業に移管		
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
活動 指標	多言語パンフレット配布 数		目標	40,000	40,000	40,000	45,000	外国人観光客の増加に伴い、多言語パンフ レットの需要が増え、配布数の増加につな がった。
			実績	82,810	54,399			
	単年で増	部	達成率	207.0%	136%			
成果 指標	外国人観光客の入込客数 (年:推定値)		目標	310,000	320,000	320,000	320,000	各種インバウンドにかかる事業の効果によ り、外国人観光客の増加につながった。
			実績	535,300	744,500			
	単年で増	人	達成率	172.7%	232.7%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	外国人観光客数の増加に伴い、多言語パンフレットの需要が増え、配布数の増加につながった。また、パンフレットの配布数の増加に伴い、外国人観光客の市内観光施設への周遊や満足度向上につながったと分析しているため。						
課題	外国人観光客のニーズにあわせたパンフレットの電子化			今後の 方向性	見直しを検討	左記の 理由	紙媒体のパンフレットと電子パンフレットを 使い分け、費用対効果を踏まえた事業執行 に努めていくため。	

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	東道後温泉郷春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	5:補助金・負担金
0512				
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令		
主な取組	観光プロモーションの推進			
目的・背景	【目的】 東道後温泉郷を中心に実施される春まつりの開催を支援し、市民の憩いの場を提供すると同時に、観光客の誘致及び地域の活性化を図る。			
対象・内容	【対象】 東道後温泉郷春祭り実行委員会 【内容】 毎年4月下旬の祝日(昭和の日)に少年剣道大会等のスポーツ大会や各種団体のバザーを実施する東道後温泉郷春祭り実行委員会に補助金を支出する。			

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	補助金		100
予算 (千円)	事業費計	100	100	100					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	100	100	100					
決算 (千円)	事業費計	100	100			主な取組 内容 【R7】	東道後温泉郷春まつり事業費補助金交付要綱に基づき、本市の観光施策に有用な催事の経費に対し補助金を交付する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	100	100						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項 <td></td> <td></td> <td></td>			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動指標	補助金の適正交付 (回数)		目標	1	1	-	-	補助金を適正に交付できたため。
			実績	1	1			
	現状維持	回	達成率	100%	100%			
			目標					
			実績					
			達成率					
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	予定どおりの補助金を交付できたため。						
課題	特になし				今後の方向性	事業終期到来	左記の理由	祭りの実施終了に伴うもの。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1. 事業概要【Plan】

事業名	松山を楽しもうキャンペーン事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令			
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	【目的】県内の主要メディア(新聞社・民間テレビ局・ラジオ局)が一体となって城山公園(堀之内)とその周辺で、毎年秋に集客力のあるイベントを実施することで、中心市街地の活性化を目的としている。 【背景】人々が集い、楽しめる場所となる城山公園の利活用を促進する中で、地元メディアとの連携により、集客イベントを展開するため事業を開始した。				
対象・内容	【対象】 県内外観光客と市民（負担金交付先:松山を楽しもうキャンペーン実行委員会） 【内容】 ①えひめ・まつやま産業まつりとの連携により実施する「えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー」 ②毎年2万人を超える子ども連れのご家族が参加する「キッズふれあいランド」 ③県警音楽隊との連携による「秋のプロムナードコンサート」 ④まつやま歌うま選手権（旧:歌謡チャンピオン大賞）				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山を楽しもうキャンペーン実行委員会への負担金		23,000
予算 (千円)	事業費計	23,000	23,000	23,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	23,000	23,000	23,000					
決算 (千円)	事業費計	23,000	23,000			主な取組 内容 【R7】	地元メディアと連携を図り、秋に集客力のあるイベントを実施 ・秋のプロムナードコンサート ・キッズふれあいランド ・えひめ・まつやま産業まつりwithメディアパーティー ・まつやま歌うま選手権		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	23,000	23,000						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3. 事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)
	目指す方向性	単位						
活動 指標	イベント開催数		目標	7	7	7	7	予定どおりイベントを開催できたため。
			実績	7	7			
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%			
成果 指標	集客数		目標	82,400	82,400	82,400	82,400	幅広い世代に向けたイベントを開催できたことや、メディアパーティーと同時開催のえひめ・まつやま産業まつりとの相乗効果による来場者増。
			実績	139,579	164,050			
	単年で増	人	達成率	169.4%	199.1%			
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。						
	理由	各イベントを無事開催することができたことにより、多くの方に楽しんでいただき城山公園を中心とした賑わいを創出できたため。						
課題	社会状況に合わせ、多くの方に楽しんでいただけるイベントを実施する必要がある。				今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	実行委員会と連携し、多くの市民や観光客に楽しんでいただくイベントとして継続するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	観光WEBプロモーション事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	－	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令			
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	【目的】 松山市の観光情報を発信し、観光都市としての松山市の認知度向上に努めながら誘客を促進することで、観光産業の振興及び地域経済の発展につなげる。 【背景】 インバウンド需要等の高まりから、平成27年度事業により、日本語・英語・韓国語・中国語(繁体字)・中国語(簡体字)の5言語に対応した観光情報専用WEBサイトを新規構築した。平成30年度から、Instagram公式アカウントも開設した。				
対象・内容	【対象】 観光客 【内容】 委託事業者に委託料を支出し、松山市観光WEBサイト「四国松山 瀬戸内松山」・Instagram「四国松山 せとうち松山」の運営管理等を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	委託料		6,358
予算 (千円)	事業費計	5,791	7,232	8,874			印刷製本費		354
	国費・県費	2,895	3,216	0					
	市債								
	その他								
	一般財源	2,896	4,016	8,874					
決算 (千円)	事業費計	7,169	6,712			主な 取組 内容 【R7】	委託事業者への委託により、WEBサイト及びInstagramの運営・保守・管理・更新を行った。		
	国費・県費	3,584	3,356						
	市債								
	その他								
	一般財源	3,585	3,356						
	(執行率)	124%	93%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.7	0.7	0.7					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	特集記事掲載数		目標	43	47	49	51	毎年継続して特集記事を新規に掲載することで掲載数を増やしている。	
			実績	44	45				
	累計で増	記事	達成率	102%	96%				
成果指標	サイト閲覧数		目標	800,000	800,000	800,000	800,000	道後温泉でのアート事業等により、観光需要が増加し、サイトのPV数に繋がったと考えられる。	
			実績	1,334,149	1,410,638				
	単年で増	PV	達成率	167%	176%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	目標であった80万PVを達成することができたため。							
課題	観光需要は変化が激しいため、常に観光をとりまく状況の変化を確認しながら需要に応じた発信を続ける必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	WEBサイト等を適正に運営して誘客につなげることで観光事業の発展や地域振興に寄与しているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	鹿島春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	—	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令	無し		
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	【目的】市内の観光関連行事として、観光客の誘致を目的とする。 【背景】毎年5月3日・4日に開催される北条地区の伝統行事として、市内外に定着している。				
対象・内容	【対象】 市民、観光客 【内容】 北条鹿島まつり実行委員会に補助金を支出し、鹿島まつりの開催を支援。 5月3日:鹿島の権練りやステージイベント、5月4日:大注連縄作製、5月11日:大注連縄張替を実施。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	北条鹿島まつり運営補助金		450
予算 (千円)	事業費計	450	450	450					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	450	450	450					
決算 (千円)	事業費計	450	450			主な取組 内容 【R7】	・5月3日：鹿島の權練り、ステージイベントなど ・5月4日：大注連縄の作製 ・5月11日：大注連縄の張替		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	450	450						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	周知メディア数		目標	8	8	8	8	市広報のほか、民間雑誌やイベントHP等を活用した。	
			実績	13	12				
	単年で増	件	達成率	163%	150%				
成果 指標	来場者数 (鹿島まつり期間中)		目標	3,600	3,600	3,600	3,600	目標値には達していないが、通常規模での開催や広報成果等により、令和6年度より増となった。	
			実績	3,300	3,500				
	単年で増	人	達成率	91.7%	97.2%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	予定どおりイベントを開催でき、市内外から多くの方楽しんでいただくことができたため。							
課題	担い手不足の課題があり、まつりを継続していけるよう取り組む必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	伝統行事としてこれからも維持継続し、観光客の誘致にもつなげていく。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	風早海まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	－	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令	無し		
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	【目的】交流人口の拡大と地域経済の活性化を目的としている。 【背景】風早海まつりは昭和58年から花火大会と商工夜店まつりを共催した「北条夏まつり」として行われ、平成7年からは地域住民総ぐるみで参加する北条地域最大の夏のイベントとして開催されている。 ワンダーランド河野氏まつりは豪族河野氏の歴史をたどるイベントとして定着している。				
対象・内容	【対象】 市民、観光客 【内容】 ・風早海まつり実行委員会に補助金を支出し、風早海まつりの開催を支援。 ・ワンダーランド河野氏まつり実行委員会に負担金を支出し、ワンダーランド河野氏まつりの開催を支援。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	風早海まつり運営補助金		3,950
予算 (千円)	事業費計	4,650	4,650	5,030			ワンダーランド河野氏まつり負担金		700
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,650	4,650	5,030					
決算 (千円)	事業費計	4,650	4,650			主な取組 内容 【R7】	・風早海まつり(7月26日) ・ワンダーランド河野氏まつり(10月26日)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	4,650	4,650						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	周知メディア数		目標	6	6	6	6	市広報のほか、民間の雑誌やイベントHP等 を活用した。	
			実績	7	8				
	単年で増	件	達成率	117%	133%				
成果指標	花火の観客数		目標	48,000	48,000	48,000	48,000	天候に恵まれたこと、広報成果などが要 因。	
			実績	52,000	52,000				
	単年で増	人	達成率	108%	108%				
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	活動指標、成果指標ともに目標を達成し、まつりによって地域振興につなげた。							
課題	物価高騰による経費の増加					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き各まつりを開催し、地域振興につ なげるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山春まつり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	－	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令	無し		
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	〈目的〉 ○ 桜の時期に、松山城と城下町を市民や観光客に回遊していただき、松山の歴史、文化の継承に貢献する。 〈背景〉 ○ 松山城小天主再建の決定を記念して、昭和42年に開始。				
対象・内容	〈対象〉 ○ 市民、観光客 〈内容〉 ○ お城まつり:大名武者行列、野球拳全国大会、東雲能、伊予節全国大会等 ○ 道後温泉まつり:湯祈禱、長寿餅つき、道後温泉おどり、女みこしかさくらパレード等				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	お城まつり実行委員会への負担金		17,920
予算 (千円)	事業費計	21,772	26,772	26,772			道後温泉まつり実行委員会への負担金		4,000
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	21,772	26,772	26,772		ポスター・チラシ作製等業務委託料		1,112	
決算 (千円)	事業費計	21,739	23,220			主な取組 内容 【R7】	○ 東雲能 ○ 野球拳全国大会 ○ 伊予節全国大会 ○ 市民パレード ○ 大名武者行列 ○ 春まつりin堀之内 ○ 道後温泉まつり		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	21,739	23,220						
	(執行率)	100%	87%						
人役	正規職員	0.8	0.8	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント開催数 (主要イベント)		目標	6	6	6	6	コロナ禍前と同規模でイベントを開催できたため。	
			実績	6	6				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	集客数		目標	186,450	186,450	186,450	186,450	広報等を活用してイベントを事前告知し、集客に努めたため。	
			実績	168,470	186,220				
	単年で増	人	達成率	90%	100%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	予定どおりイベントを開催でき、市内外から多くの方に回遊し楽しんでいただくことができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	実行委員会と連携し、多くの市民や観光客に楽しんでいただくイベントとして継続するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山野球拳おどり事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令			
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	〈目的〉 ○ 真夏の一大イベントとして憩いの場を提供するほか、交流人口を拡大し、地域を活性化する。 〈背景〉 ○ 昭和41年に、四国3県都の夏祭りに肩を並べる夏の風物詩とするため、昭和41年に「松山おどり」として開始。令和4年度、「松山野球拳おどり」に改称した。				
対象・内容	【対象】 市民、観光客 【内容】 松山野球拳おどり実行委員会へ負担金を支出し、松山野球拳おどりを開催する。また、広報活動を通してイベントへの参画を促す。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山野球拳おどり実行委員会負担金		33,860
予算 (千円)	事業費計	23,860	33,860	23,860					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	23,860	33,860	23,860					
決算 (千円)	事業費計	23,860	33,860			主な取組 内容 【R7】	・3日間の日程で街頭踊りを実施した。 ・演舞会場を増やしたほか、城山公園（堀之内地区）での「Baseball-Dance MUSIC Fes」やキッチンカーイベントを実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	23,860	33,860						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記事項	令和7年度は予算を増額し、第60回記念大会を実施した。		
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	参加連の数		目標	45	48	48	48	事前説明会や前大会参加連への依頼など、参加を促進したため。	
			実績	48	48				
	現状維持	連	達成率	107%	100%				
成果指標	観客動員数		目標	136,000	200,000	200,000	150,000	3日間のうち2日間で雨天となり、観客が少なかったため。	
			実績	148,000	132,000				
	単年で増	人	達成率	109%	66%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	雨天の影響で観客動員数が想定より少なかったものの、第60回記念大会として著名人を起用した音楽イベントを実施し、市内中心部の活性化に一定寄与したため。							
課題	参加者や観客が新型コロナウイルス感染症禍前の水準まで回復していない。 人件費、光熱費、物価高騰の影響はあるが、まつりの規模を維持する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き野球拳おどりを開催し、交流人口の拡大と地域活性化につなげるため

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山港まつり・三津浜花火大会事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0512					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人と仕事を呼び込む情報発信	根拠法令			
主な取組	観光プロモーションの推進				
目的・背景	市内で最大規模の花火大会を共催実施することで、観光客を誘致し、地域を振興する。				
対象・内容	【対象】 観光客、市民 【内容】 松山港まつり振興会へ負担金を支出し、松山港まつり・三津浜花火大会を開催する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	松山港まつり振興会への負担金		13,750
予算 (千円)	事業費計	15,250	13,750	16,000			市内旅費		7
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,250	13,750	16,000					
決算 (千円)	事業費計	15,259	13,757			主な取組 内容 【R7】	・松山港まつり・三津浜花火大会の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	15,259	13,757						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	広告媒体の活用 (広報誌、HP等)		目標	20	20	20	20	テレビ、ラジオ、広報紙、SNSなど幅広い 広告媒体を活用したため。	
			実績	20	20				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
成果 指標	観客数		目標	230,000	230,000	230,000	230,000	幅広い広報媒体を使用し、イベントを周知 したため。	
			実績	300,000	230,000				
	現状維持	人	達成率	130%	100%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	広報紙、SNS、観光情報ウェブサイトの特集等で花火大会を告知した結果、市内外から多くの来場があり、地域振興に寄与したため。							
課題	物価や人件費高騰の影響を継続的に注視し、まつりの規模を維持する必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き花火大会を開催し、地域振興につなげるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	伊予絣産業振興事業負担金事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】 伝統的地場産業である伊予絣業界を振興するため。 【背景】 伊予絣は松山の地場産業として、昔から人々に親しまれてきた。一方で、時代の経過とともにその売れ行きは年々減少しており伊予絣業界の発展に苦慮している。				
対象・内容	【対象】 伊予織物工業協同組合 【内容】 伊予織物工業協同組合は、伊予絣の発展のため、各種展示会、即売会を開催するほか、伝統工芸大賞に出品、無形文化財登録への取り組みなど伊予絣発展のため尽力している。 これらの取り組みを行う伊予織物工業協同組合に負担金を支出する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	負担金		400
予算 (千円)	事業費計	400	400	400					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400	400					
決算 (千円)	事業費計	400	400			主な取組 内容 【R7】	伝統工芸である伊予絣の発展のために活動を行っている伊予織物工業協同組合に負担金を支出する。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	400	400						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担金の適正執行		目標	1	1	1	1	負担金を適正に支出できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、伊予織物工業協同組合の活動を行うことができたため。							
課題	伊予絁を存続させていくにあたって後継者等の問題					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	伝統工芸である伊予絁を継続していくために必要な事業であるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (松山国際観光客誘致推進協議会負担金)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】国際観光の振興及び外国人観光客の誘致推進を一体的かつ具体的に推進する。 【背景】人口減少により、国内の旅行需要の減少が見込まれる中で、本市の基幹産業の一つである観光産業の振興に向け、インバウンド需要を獲得していくことが重要となっているため、令和6年5月に本市と関係団体で構成する「松山国際観光客誘致推進協議会」を発足した。				
対象・内容	【対象】松山国際観光客誘致推進協議会 【内容】松山国際観光客誘致推進協議会に対し負担金を支出し、松山市内に宿泊する旅行商品を造成し、送客した旅行会社への助成や海外の旅行会社への営業、個人旅行者への各種プロモーションを行うほか、ボランティアガイドなどの受入環境整備に取り組む。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	松山国際観光客誘致推進協議会に対する負担金		22,009
予算 (千円)	事業費計	29,388	24,010	30,070					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	29,388	24,010	30,070					
決算 (千円)	事業費計	29,285	22,009			主な 取組 内容 【R7】	・旅行会社への送客助成金 ・インフルエンサーを活用したプロモーション ・ボランティアガイドの運営 ・海外旅行イベントへの出展		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	29,285	22,009						
	(執行率)	100%	92%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0						
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港乗降客数(国際線)(年度集計)		目標	130,000	330,000	400,000	400,000	松山国際観光客誘致推進協議会で、関係団体と連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	320,599	393,487				
	単年で増	人	達成率	160%	119%				
成果指標	外国人観光客数(年:推定値)		目標	310,000	320,000	320,000	320,000	松山国際観光客誘致推進協議会で、関係団体と連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	535,300	744,500				
	単年で増	人	達成率	152%	233%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	松山国際観光客誘致推進協議会で行った旅行会社向けの送客助成金の運用やプロモーションなどが、松山空港の国際定期路線の乗降客数や外国人観光客数の増加に寄与したと考えられるため。							
課題	東アジアからの安定した観光誘客 欧米豪市場向けの観光コンテンツ開発・プロモーション 外国人旅行者への受入環境整備					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き国際観光の振興と外国人観光客の誘致推進につなげる必要があるため

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (愛媛・韓国経済観光交流推進協議会負担金)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】松山ーソウル・釜山路線の安定運航・拡充による、韓国からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とする。 【背景】平成9年に「愛媛・韓国経済観光交流推進協議会(事務局:愛媛県)」が発足し、同協議会が実施する誘客促進のためのPR等の事業を実施している。				
対象・内容	【対象】愛媛・韓国経済観光交流推進協議会 【内容】愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等のほか、松山ーソウル・釜山路線を利用して県内に宿泊を伴う旅行商品を造成し、本県に送客する旅行会社への助成などを行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に対する負担金		256,209
予算 (千円)	事業費計	290,972	318,892	354,362					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	290,972	318,892	354,362					
決算 (千円)	事業費計	244,439	256,209			主な 取組 内容 【R7】	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会に負担金を支出し、韓国メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR等の事業を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	244,439	256,209						
	(執行率)	84%	80%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港乗降客数(松山-ソウル・釜山線)(年度集計)		目標	50,000	277,000	331,000	331,000	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会で、県などと連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	276,495	330,503				
	単年で増	人	達成率	553%	119%				
成果指標	韓国からの観光客数(年:推定値)		目標	30,000	128,000	128,000	128,000	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会で、県などと連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	289,300	418,800				
	単年で増	人	達成率	964%	327%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	愛媛・韓国経済観光交流推進協議会で各種事業を行うとともに、松山ー釜山線が令和7年10月から増便となったことなどにより松山空港乗降客数(松山ーソウル・釜山線)と韓国からの観光客数が大きく増加したため。							
課題	松山ーソウル・釜山線の安定運行に向けた、搭乗者数の維持					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き国際観光の振興と外国人観光客の誘致推進につなげる必要があるため

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】愛媛県や松山市を含む県内市町の認知度向上及び外国人観光客の誘致を促進し、地域経済の活性化を目的とする。 【背景】平成12年に「愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会(事務局:愛媛県)」が発足し、同協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業を実施している。				
対象・内容	【対象】愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会 【内容】愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会に負担金を支出し、海外メディア・旅行会社等の招聘や現地でのPR、県内の観光事業者やボランティアガイドへの研修等の事業を実施する。また、松山ー上海線の運航再開に向け、商談やプロモーション活動を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	愛媛県国際観光テーマ地区 推進協議会に対する負担金		32,235
予算 (千円)	事業費計	22,354	52,365	13,383					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	22,354	52,365	13,383					
決算 (千円)	事業費計	11,140	32,235			主な 取組 内容 【R7】	・中国などへ向けた、各種プロモーション ・大阪・関西万博でのプロモーション		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	11,140	32,235						
	(執行率)	50%	62%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港乗降客数(松山-上海線)(年度集計)		目標	10,000	10,000	10,000	10,000	令和7年7月に運航を再開した松山ー上海線が同年10月に再度運休したため。	
			実績	0	7,959				
	単年で増	人	達成率	0%	80%				
成果指標	中国・香港からの観光客数(年:推定値)		目標	20,000	39,000	39,000	39,000	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会で、県などと連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	51,400	66,700				
	単年で増	人	達成率	257%	171%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会で各種事業を行うとともに、松山ー上海線が令和7年7月に運航を再開(同年10月に再度運休)したことなどにより中国からの観光客数が増加したため。							
課題	松山ー上海線の運航再開と搭乗率向上に向けた取組					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	愛媛県国際観光テーマ地区推進協議会で、県などと連携して、効果的なプロモーション等を継続しているため

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	国際観光客誘致促進事業 (松山空港利用促進協議会負担金)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】松山－台北線の安定運航・拡充による、台湾からの誘客拡大・地域経済の活性化を目的とする。 【背景】平成4年に「松山空港利用促進協議会(事務局:愛媛県)」が発足し、同協議会が実施する認知度向上のためのPR等の事業を実施している。				
対象・内容	【対象】松山空港利用促進協議会 【内容】松山空港利用促進協議会に対し負担金を支出し、現地の旅行会社や個人旅行者への各種プロモーションのほか、松山－台北路線を利用して県内に宿泊を伴う旅行商品を造成し、本県に送客する旅行会社への助成などを行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	松山空港利用促進協議会 に対する負担金		71,741
予算 (千円)	事業費計	99,565	77,741	69,857					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	99,565	77,741	69,857					
決算 (千円)	事業費計	67,130	71,741			主な 取組 内容 【R7】	・旅行会社や個人旅行者への各種プロモーション		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	67,130	71,741						
	(執行率)	67%	92%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	松山空港乗降客数(松山-台北線)(年度集計)		目標	10,000	45,000	56,000	56,000	松山空港利用促進協議会で、県などと連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	44,104	55,263				
	単年で増	人	達成率	441%	122%				
成果指標	台湾からの観光客数(年:推定値)		目標	72,000	85,000	85,000	85,000	松山空港利用促進協議会で、県などと連携して効果的なプロモーション等ができたため。	
			実績	131,200	165,100				
	単年で増	人	達成率	182%	194%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	コロナ禍後、令和6年3月に運航を再開し、同年10月から増便となったことや、松山空港利用促進協議会で行うプロモーションなどにより、松山空港降客数(松山ー台北線)、観光客数ともに増加した。							
課題	松山ー台北線の安定運行に向けた、搭乗者数の維持					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き台湾からの誘客拡大、地域経済の活性化につなげる必要がある。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	(公財)松山観光コンベンション協会運営補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	－	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市補助金等交付規則		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】 松山市及び愛媛県が有する文化的、社会的、経済的特性を生かし、国内外の観光客及び国内・国際コンベンションの誘致支援等を行い、松山市の観光・物産振興と松山市及び愛媛県におけるコンベンションの振興を図る。 【背景】平成17年度に松山コンベンションビューローと松山市観光協会が統合して設立された。平成24年度に公益財団法人となった。				
対象・内容	【対象】 (公財)松山観光コンベンション協会 【内容】 以下の事業を実施する(公財)松山観光コンベンション協会に運営補助金を支出する。 ①観光・物産振興のために行う事業の企画、実施、支援に関すること。 ②MICE振興のために行う事業の企画、実施、支援に関すること。 ③PR商品の販売等に関すること。 ④その他この法人の目的達成に必要な事業				

2. 事業実施【Do】

事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度			
予算 (千円)	事業費計	191,553	211,706	230,594	主な 経費 (千円) 【R7 決算】	補助金	186,402
	国費・県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	191,553	211,706	230,594			
決算 (千円)	事業費計	174,552	186,402		主な 取組 内容 【R7】	・台北ランタンフェスティバルへの出展 ・仙台市での物産と観光展の開催 ・コンベンション誘致活動として、中四国・7都市など懇談会の開催	
	国費・県費						
	市債						
	その他						
	一般財源	174,552	186,402				
	(執行率)	91%	88%				
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2	特記 事項		
	その他						
	合計	0.2	0.2	0.2			

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	コンベンション誘致セールス活動件数		目標	250	250	250	250	令和6年4月に拡充した助成金制度をPRし、首都圏でセールスを行ったほか、地元大学・各学部の先生に対し、個別に説明・セールスを行ったため。	
			実績	391	261				
	単年で増	件	達成率	156.4%	104.4%				
成果指標	コンベンション開催件数		目標	90	100	110	160	・コンベンション開催助成金の見直し ・観光庁支援事業を通じた地元ステークホルダーとの連携体制の構築	
			実績	107	126				
	単年で増	件	達成率	118.9%	126.0%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	誘致営業等を積極的に行うほか観光庁補助事業にも取り組むなど、セールス効果を上げることができ、令和7年度はコンベンション開催件数が前年を上回った。特に国際会議は、大きく増加し、松山観光コンベンション協会が令和10年度のKPIとして掲げる開催件数を前倒しで達成することができた。							
課題	担当職員の減による一人当たりの業務量増のため、誘致訪問件数減少のおそれ					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	松山観光コンベンション協会は観光およびMICE振興に必要なため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	放生園管理事業	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	2:委託
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】観光誘客のため、放生園を適切に管理する。				
対象・内容	【対象】放生園内施設 【内容】・放生園内の樹木の保護育成、園内の清掃、足湯の管理等(委託先:道後温泉旅館協同組合) ・坊っちゃんカラクリ時計の保守点検(委託先:株式会社ジャクエツ)				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費		
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	委託料		5,268		
予算 (千円)	事業費計	7,016	6,678	8,222			工事請負費	2,822			
	国費・県費							足湯使用料	1,942		
	市債										
	その他										
一般財源	7,016	6,678	8,222		主な 取組 内容 【R7】	・敷地内清掃、足湯の運営等の日常管理 ・坊っちゃんカラクリ時計の定期的な保守点検、調整、不具合の修繕工事など					
決算 (千円)	事業費計	9,841	10,973								
	国費・県費										
	市債										
	その他										
	一般財源	9,841	10,973								
	(執行率)	140%	164%			特記 事項	坊っちゃんカラクリ時計の突発的な修繕・委託が生じ、執行率が165%となった。				
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2							
	その他										
	合計	0.2	0.2	0.2							

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	足湯水質定期検査		目標	1	1	1	1	滞りなく定期検査を実施できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・放生園内の足湯等の維持管理、坊っちゃんカラクリ時計の保守点検を適切に実施し、市を代表する観光地の活性化に寄与できたため。							
課題	園内施設や植栽の老朽化が進んでいるため、各施設の現状を適切に把握し、施設の点検や更新を計画的に実施する必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、放生園等を適正に管理し、地域振興、事業発展に寄与するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	権現温泉管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	松山市温泉使用条例、松山市温泉使用条例施行規則		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】権現温泉を適正に供給し、観光事業の発展、地域の振興に寄与する。				
対象・内容	【対象】 温泉の供給先 【内容】 温泉の適正な供給のため、分湯施設(源泉、貯水槽、分湯槽)の維持管理を行う。 温泉の供給先に対し、使用料を毎月請求し、入金管理を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費	
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	光熱水費		196	
予算 (千円)	事業費計	374	330	395			報償費	50		
	国費・県費							委託料	50	
	市債									
	その他	1,405	1,405	1,405						
	一般財源	-1,031	-1,075	-1,010						
決算 (千円)	事業費計	660	295			主な取組 内容 【R7】	・分湯施設の維持管理 ・供給先に対する使用料の入金管理			
	国費・県費									
	市債									
	その他	1,326	1,343							
	一般財源	-666	-1,048							
	(執行率)	176%	89%							
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項				
	その他	0.1	0.1	0.1						
	合計	0.2	0.1	0.2						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	使用料収入		目標	1,404	1,404	1,404	1,404	R6.12から、R7.5月まで、1者が、使用の休止していたため。	
			実績	1,326	1,343				
	現状維持	千円	達成率	94%	96%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	当初の計画どおりに業務を遂行できた。							
課題	物価や人件費高騰の影響を継続的に注視する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、権現温泉を適正に供給し、地域振興、事業発展に寄与するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	四国のみち管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全な利用を確保する。 【背景】愛媛県から管理委託の要請があり事業を開始した。				
対象・内容	【対象】四国のみち(四国自然歩道)委託区間:36.7km 【内容】旧道三坂峠を下るみち、瀬戸風峠へのみち、北三方ヶ森へのみち、高縄山探鳥のみちの各ルートを良好な状態に保つため、パトロールを行う。 また、シルバー人材センターに清掃活動等を委託する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	清掃業務委託料		63
予算 (千円)	事業費計	64	64	64			消耗品	1	
	国費・県費	63	63	63					
	市債								
	その他								
	一般財源	1	1	1					
決算 (千円)	事業費計	64	64			主な取組 内容 【R7】	四国のみちを良好な状態に保つため、パト ロールと清掃活動を行った。		
	国費・県費	63	63						
	市債								
	その他								
	一般財源	1	1						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	パトロール回数		目標	3	3	3	3	計画的にパトロールを実施できた。	
			実績	3	3				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行い、利用者の安全な利用を確保することができたため。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き県の委託に従い、四国のみち(四国自然歩道)の適正な維持管理を行う。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6555
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山はいく事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】松山が「俳句」のまちであることを国内外に発信しブランディングするほか、滞在時間の増加や交流人口の拡大を目指す。 【背景】国の内外から観光客を誘致するために、松山ならではの俳句や文学をテーマとした滞在プログラム型の旅行商品開発等に取り組むこととなった。				
対象・内容	【対象】国内外からの観光客 【交付先】松山はいく運営委員会 【内容】着地型観光プログラムである有料のまち歩きガイド「松山はいく」の運営母体「松山はいく運営委員会」へ負担金を支出する。 ・観光需要の変化に対応した観光商品の磨き上げ・造成と効果的な情報発信 ・吟行体験等の「俳都＝松山」ならではの体験メニューの提供・修学旅行での活用 ・連携都市・大学・新聞社・カルチャースクール・旅行会社との連携				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	松山はいく事業実施に伴う負担金		11,205
予算 (千円)	事業費計	13,950	12,647	11,382					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	13,950	12,647	11,382					
決算 (千円)	事業費計	11,148	11,205			主な 取組 内容 【R7】	・吟行体験等の「俳都＝松山」ならではの体験メニューの開発・販売・プロモーション ・修学旅行誘致促進事業と連携し、観光客の誘致に取り組む		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	11,148	11,205						
	(執行率)	80%	89%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.5	0.5	0.5					
	合計	1.1	1.1	1.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	採用旅行会社数		目標	18	18	18	18	オンライン旅行会社の販売サイトでの情報発信や広告出稿等を通じ、消費者の目に触れるよう販売促進を行い、松山の魅力を伝えることができた。	
			実績	18	29				
	単年で増	社	達成率	100%	161.1%				
成果指標	松山はいく参加者		目標	4,000	4,000	4,000	4,000	修学旅行の受入件数減少の影響はあるものの、一般旅行者の申込状況は安定しており、観光客のニーズに合わせた商品を提供できた。	
			実績	2,470	2,134				
	単年で増	人	達成率	61.8%	53.4%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	松山ならではの俳句体験を希望する修学旅行団体に対し有効な体験メニューを提供するなど、まち歩きガイド事業等を通じて、観光客に対し継続して松山の魅力を伝えることができているため。							
課題	・まち歩きメニューの充実 ・ガイド人材の育成・確保 ・訪日外国人観光客の受入体制強化					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	国内外の観光客に対応するため、ガイドの人材確保・スキルアップや新商品の造成などを継続して行い、観光客誘致に取り組む必要があるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	誘客促進・観光おもてなし事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	－	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】 観光客の松山に対するイメージアップのほか、観光PR力の向上とまち全体の「おもてなし」風土を醸成する。				
対象・内容	【対象】 ①道後地域の小学生 ②学生、一般市民 ③グレーターしまなみ・えひめ推進協議会 【内容】 ①道後地域の小学生を「まつやま観光キッズ」に任命し、道後でおもてなし活動を行う。 ②松山商工会議所や松山大学等との連携で、学生や一般市民を対象に「松山」について学ぶ講座を開講する。 ③しまなみ海道サイクリングを観光コンテンツとして定着、普及を目指す「グレーターしまなみ・えひめ推進協議会」に参画し、松山市の体験型コンテンツ、温泉、宿泊施設等との連携を推進する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	グレーターしまなみ・えひめ推進協議会負担金		1,775
予算 (千円)	事業費計	2,807	2,455	2,455			消耗品費		436
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,807	2,455	2,455		報償費		28	
決算 (千円)	事業費計	2,704	2,340			主な取組 内容 【R7】	・まつやま観光キッズの活動 ・ふるさとふれあい塾の開催 ・グレーターしまなみ・えひめ推進協議会の事業(サイクリング環境整備のための民間事業者への補助金支給、デジタルスタンプラリー、「新しい自転車旅」の普及・定着に向けたプロモーション)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,704	2,340						
	(執行率)	96%	95%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析。 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	ふるさとふれあい塾 講座回数		目標	12	12	12	12	関係者と連携し、予定どおり講座を開催できた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果 指標	観光客のおもてなし人数		目標	500	500	1,000	1,000	松山観光キッズの対象学年を下げ、参加者数が増加したほか、令和6年度に比べおもてなし活動の回数も増えたため。	
			実績	600	1,200				
	現状維持	人	達成率	100%	240%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・「まつやま観光キッズ」や「ふるさとふれあい塾」等を通じて魅力を発信できる人材を育成したほか、広域で連携した観光コンテンツの普及など、当初の目的どおりの事業を行うことができたため。							
課題	時代の変化にあわせた効果的なPR手法を継続的に検討する必要がある。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き、松山の魅力を発信できる人材を育成するほか、通過型から滞在型観光への転換を促進するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	鹿島賑わい活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】昭和31年に瀬戸内海国立公園に指定された鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理で、風光明媚な地域の宝である鹿島を活性化することを目的とする。 【背景】風早レトロタウン構想の策定に伴い、風早サブセンターゾーンの活性化策の一つとして事業を開始した。				
対象・内容	【対象】 市民、管理事業者 等 【内容】 海水浴のシーズンにあわせて、民間事業者に以下の管理業務を委託するほか、鹿島の活性化に取り組む。 ・海水浴場のサメ保護ネットの設置や撤去に係る業務 ・北条鹿島博物展示館の管理業務 ・鹿島公園清掃業務等				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	鹿島公園清掃等業務委託料		12,135
予算 (千円)	事業費計	24,159	21,173	21,275			消耗品費		2,329
	国費・県費								
	市債								
	その他	510	503	547					
	一般財源	23,649	20,670	20,728		光熱水費		2,476	
決算 (千円)	事業費計	24,002	19,667			主な取組 内容 【R7】	・海水浴場へのサメ保護ネットの設置 ・北条鹿島博物館展示館の運営 ・鹿島公園の景観整備及び施設の維持管理 ・かしま釣り大会の開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他	529	565						
	一般財源	23,473	19,102						
	(執行率)	99%	93%						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他	0.2	0.2	0.2					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	来島者数		目標	55,500	55,500	55,500	55,500	夏場の酷暑の影響で来島者数が減少した。	
			実績	38,822	38,252				
	単年で増	人	達成率	70%	69%				
			目標						
実績									
		達成率							
事業評価	評価	その他							
	理由	前年度と比較して来島者数が減少したため、来島促進に課題が残るものの、施設管理等を滞りなく実施したほか、釣り大会の実施やSNSを利用した広報など、来島促進に努めた。							
課題	来島者数の増加、維持に向けて取り組む必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、鹿島を適正に運営管理し、地域振興、事業発展に寄与するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6557
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	修学旅行誘致促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】中部・東海、関東、関西などの都市圏や、近隣の中四国、九州エリアを対象に、修学旅行の誘致を促進する。 【背景】平日の旅行者が低迷しており、新たな団体旅行の確保が必要な中、解決策として大規模な平日の団体旅行者を確保できる修学旅行を誘致することとなった。				
対象・内容	【対象】中部・東海、関東、関西、中国、四国、九州などの学校や旅行会社 【内容】学校や旅行会社等に対し、戦略的な営業活動を行うことで、修学旅行のさらなる誘致・定着に努める。 1.パンフレットの見直し、ホームページの更新・維持管理 2.戦略的・効果的な誘致活動の展開 3.新たな体験メニューの開発 4.地元関係者が主体となった受入体制の構築 5.交通動線の調整 6.ユニバーサル・ツーリズムの実現に向けた環境整備や周知啓発(特別支援学校等の修学旅行サポート等)				

2.事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	修学旅行誘致助成やユニバーサルプロジェクト支援事業への負担金		10,082
予算 (千円)	事業費計	13,827	14,936	5,016			体験メニューのサポート業務などの委託料		1,615
	国費・県費	6,235	6,740				営業パンフレットなどの印刷製本費		1,137
	市債								
	その他								
	一般財源	7,592	8,196	5,016					
決算 (千円)	事業費計	11,016	13,519			主な取組 内容 【R7】	・新たに松山市を旅行先とする学校の定着化 ・宿泊施設と連携した受入体制の強化等 ・新たな体験メニューの開発・実施 ・ユニバーサルプロジェクトによる分科会の運営や特別支援学校向けの事前学習資料の作成		
	国費・県費	4,823	6,041						
	市債								
	その他								
	一般財源	6,193	7,478						
	(執行率)	80%	91%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	修学教育旅行パンフレット掲載体験メニュー数		目標	80	80	80	80	掲載内容の更新に加え、体験型メニューの開発のために受入団体と協議・調整を行うことができた。	
			実績	77	89				
	単年で増	個	達成率	96.2%	111.3%				
成果指標	修学旅行受入校数		目標	110	110	110	110	体験メニューの開発や助成金制度の活用を行い戦略的・効果的な誘致活動を展開するも、コロナ禍の収束に伴う旅行先の方面変更が見られたため。	
			実績	84	90				
	単年で増	校	達成率	76.3%	81.8%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	コロナ禍の収束に伴う旅行先の方面変更は見られるものの、コロナ禍前の受入数を上回る数字であり、魅力的な体験メニューやコース提案、新たな受入先の掘り起こし、リピーターの定着に努めた結果、効果的な修学旅行誘致を行うことができたため。							
課題	・広島市を含む周辺地域と連携した更なる修学旅行の誘致と定着化 ・誰もが安心して安全に参加・周遊できるユニバーサル型修学旅行の実施に向けた取り組み ・学習指導要領等の改訂によるニーズの変化					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	魅力的な体験メニューを開発・リニューアルし、継続的に提案することで、多様化するニーズへ対応し、修学旅行を誘致し、定着するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業（観光交流事業）	事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画（実施計画）	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】本市とのゆかりや深いつながりのある都市等との交流を通じ、本市の観光交流人口を拡大することを目的とする。				
対象・内容	【対象】 ①観光交流都市等（東松山市、新宿区、横須賀市、斑鳩町、熊本市、石川県、別府市） 【内容】 ①観光交流都市等での観光PRイベントへのブース出展及び松山市発祥の「本家野球拳大会」の開催。 ②松山別府観光誘致促進協議会で松山別府の周遊促進を図る。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 （千円） 【R7 決算】	負担金		2,593
予算 （千円）	事業費計	3,294	3,630	3,678			普通旅費		659
	国費・県費						使用料及び賃借料		105
	市債								
	その他								
	一般財源	3,294	3,630	3,678					
決算 （千円）	事業費計	2,670	3,492			主な 取組 内容 【R7】	・観光交流都市でのイベントに参加し、観光PRを実施したほか、ステージイベントにて「本家野球拳大会」を実施した。 ・松山別府観光誘致促進協議会ではオーストラリアブリスベンで現地観光セミナーを行うなどした。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	2,670	3,492						
	（執行率）	81%	96%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	誘致宣伝活動でのパンフレット配布数		目標	-	2,000	2,000	2,000	令和7年度から指標を変更予定していたイベントが荒天により中止となったため。	
			実績	1,600	1,500				
	現状維持	枚	達成率	0%	75%				
成果指標	松山市観光客推定数※年度ではなく年		目標	6,000,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	観光交流都市との相互誘客の活動により、目標を達成した。	
			実績	6,003,900	6,358,400				
	現状維持	人	達成率	100%	103%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	誘致宣伝活動については、予定していたイベントが荒天により中止となり、目標には達成できなかったが、イベント参加以外にも様々な連携を行い、各都市との交流をすることができ、松山市観光客推定数が635万8400人と過去最高となったため。							
課題	イベント参加での誘致以外の連携についても検討する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光交流都市と連携し事業を進めていく

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (四国観光立県推進愛媛協議会)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けれるまちの魅力向上	根拠 法令	なし		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】愛媛県、市町及び観光協会をはじめとする民間団体と連携し、観光客を誘致し、交流人口の拡大に努める。				
対象・内容	【対象】 四国観光立県推進愛媛協議会 【内容】 四国観光立県推進愛媛協議会に負担金を支出し、観光プロモーションや受入態勢整備を通して誘客促進を図る。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	四国観光立県推進愛媛協 議会への負担金		1,198
予算 (千円)	事業費計	1,224	1,198	1,185					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,224	1,198	1,185					
決算 (千円)	事業費計	1,956	1,198			主な 取組 内容 【R7】	・観光振興事業 ・総合観光プロモーション推進事業 ・大阪・関西万博を契機とした観光誘客プ ロモーション強化事業		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,956	1,198						
	(執行率)	160%	100%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	誘致拡大PR事業の数		目標	4	4	4	4	PR事業に限らず、14の事業を実施した。	
			実績	2	4				
	現状維持	件	達成率	50%	100%				
成果指標	Instagramのフォロワーの増加数		目標	6,000	6,000	6,000	6,000	多数の事業を実施することで、多くのフォロワー数を獲得でき、誘客促進につなげることができた。	
			実績	6,000	9,000				
	単年で増	人	達成率	100%	150%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	県外のイベントでの観光PRブース出展、松山空港・松山観光港の利用者に対する誘客アプローチを行ったほか、県内をロケ地とした映像作品のPRと更なる誘致、キャッチコピーを活用したオンラインでのプロモーションや、商品造成などを通して、誘客促進に繋げることができたため。							
課題	時代の変化にあわせた効果的なPR手法を継続的に検討する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光プロモーションに取り組むことで、観光交流人口の拡大を目指す。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (四国四市観光誘致促進協議会事業)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】 四国への観光交流人口の増大及び地域の観光産業の振興に寄与することを目的とする。				
対象・内容	【対象】 四国四市観光誘致促進協議会 【内容】 四国四市観光誘致促進協議会に負担金を支出し、四国県都4市が連携しながら、相互の観光誘致活動を支援するとともに、それぞれの観光資源を活用しつつ、効果的な宣伝活動を展開し、共同観光キャンペーンを実施する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	四国四市観光誘致促進協 議会 負担金		450
予算 (千円)	事業費計	640	640	654			普通旅費		198
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	640	640	654					
決算 (千円)	事業費計	648	648			主な 取組 内容 【R7】	・共同キャンペーンの実施 ・四国四市観光PR広告物の制作		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	648	648						
	(執行率)	101%	101%						
人役	正規職員					特記 事項	普通旅費が増加したため、決算額が上回った。		
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	共同観光キャンペーン		目標	1	1	1	1	「全国ふるさとフェア2025」のほか、岡山市で開催された「秋のおかやま桃太郎まつり＆集え岡山城」にも出展したことで目標回数を達成できた。	
			実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	200%	200%				
成果指標	公式Instagramのフォロワー増加数		目標	700	700	800	800	Instagramアカウントを保有していない来場者も多く、フォロワー数は目標に達しなかったものの、アンケート回答などを条件にキャンペーンに参加してもらうことで四国四市の魅力をPRすることができた。	
			実績	922	792				
	単年で増	人	達成率	115%	113%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	横浜赤レンガ倉庫で開催された「全国ふるさとフェア2025」のほか、岡山市で開催された「秋のおかやま桃太郎まつり＆集え岡山城」に出展し、観光PRブースにてSNSフォローキャンペーンを実施したところ、公式Instagramのフォロワー数が増え、四国の魅力を広く発信することができたため。							
課題	時代の変化にあわせた効果的なPR手法を継続的に検討する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光プロモーションに取り組むことで、観光交流人口の拡大を目指す。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	広域・観光交流事業 (広域観光連携推進協議会)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令	なし		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】松山市、東温市、砥部町及び各市町観光協会が連携し、観光客の増加及び滞在型観光を推進する。				
対象・内容	【対象】 広域観光連携推進協議会、観光客 【内容】 3団体が相互に連携し、観光PRイベントやパンフレットの作成等を通して誘客活動を行う。 東温市の「坊っちゃん劇場」や砥部町の「砥部焼」、松山市の観光資源等を組み合わせて観光客の回遊性を高める。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	広域観光連携推進協議会 への負担金		928
予算 (千円)	事業費計	1,943	1,949	0			イベント出展に係る普通 旅費		85
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,943	1,949						
決算 (千円)	事業費計	1,948	1,013			主な 取組 内容 【R7】	・周遊促進補助事業 ・観光パンフレット「EMOTABI」増刷発行 【6500部】 ・観光PRイベントへの出展(広島)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,948	1,013						
	(執行率)	100%	52%						
人役	正規職員	0.2	0.2	0.2		特記 事項			
	その他								
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	観光PRイベント出展		目標	3	3	1	1	3団体のスケジュールを鑑み、出展を1回に集約したため。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	33%	33%				
成果指標	PRイベントブース来場者数		目標	1,500	1,500	1,500	1,500	3団体が連携してノベルティ1,500部の配布や、ゆるキャラとの記念撮影等で、各市町をアピールできた。	
			実績	1,500	1,500				
	現状維持	人	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	周遊促進補助事業として、受注型企画旅行を請け負う旅行会社に対し、当圏域への送客実績に応じて補助金を支出する制度を構築した。補助金制度の活用促進のため、広島圏域の旅行会社を中心に営業活動を行った。 また、広島みなとフェスタで観光PRブースを設置し、誘致、宣伝を行い、3団体への誘客に寄与できたため。							
課題	時代の変化にあわせた効果的なPR手法を継続的に検討する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	3団体が協力・連携して事業を実施し、広域観光の促進に寄与しているため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6555
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (瀬戸内4県都市長会事業実行委員会)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】 瀬戸内の中心都市である岡山市、高松市、広島市、松山市の4市が連携し、互いの特性を活かして相乗効果を発揮する。 【背景】 平成27年度に当該委員会を設立した。				
対象・内容	【対象】 瀬戸内4県都市長会事業実行委員会 【内容】 瀬戸内4県都市長会事業実行委員会に負担金を支出し、4市が連携して、観光振興や販路拡大などの共通課題に取り組む。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	実行委員会の事業実施に 対する負担金	996	
予算 (千円)	事業費計	1,000	1,000	1,000					
	国費・県費	500	500						
	市債								
	その他								
	一般財源	500	500	1,000					
決算 (千円)	事業費計	996	996			主な 取組 内容 【R7】	・「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中 部北陸」への4市共同出展		
	国費・県費	498	498						
	市債								
	その他								
	一般財源	498	498						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	4市連携プロモーション		目標	2	2	2	2	令和7年度事業が「ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸」への共同出展であったため、1回のみであったが、4市の魅力を効果的に発信することができた。	
			実績	2	1				
	単年で増	回	達成率	100%	50%				
成果 指標	観光客推定数		目標	6,000,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	4市で連携し効果的なプロモーションを行ったことにより、目標を達成することができた。	
			実績	6,003,900	6,358,400				
	単年で増	人	達成率	100%	102.6%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	瀬戸内の豊富な観光資源を活かして、国内外からの観光客誘客を行うことができたため。							
課題	・瀬戸内4県都市との連携強化 ・他自治体の取り組み等の情報収集・差別化 ・瀬戸内4県都市ならではの観光PRの実施					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	4市への来訪意欲を高め、さらなる誘客を促進するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6557
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(JR四国協定負担金)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】JR四国と連携協定を締結し、「瀬戸内・松山構想」の実現や、持続可能な「観光未来都市まつやま」の推進のため、松山市の観光発展と交流人口の一層の拡大を目指す。 【背景】平成21年のNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」の放送をきっかけに協定を締結し、瀬戸内・松山周遊ルートへの定着に向けた取組を行っている。				
対象・内容	【対象】 JR四国、観光客 【内容】 JR四国に負担金を支出し、以下の連携事業を実施。 ・大阪・関西万博の開催に向けたインバウンド誘客の促進 ・「瀬戸内・松山構想」の推進のための観光プロモーションの実施 ・その他目的を達成するために必要とする事業				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	協定に基づくプロモーション事業への負担金		3,000
予算 (千円)	事業費計	3,000	3,000	3,000					
	国費・県費	1,500	1,500						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,500	1,500	3,000					
決算 (千円)	事業費計	3,000	3,000			主な取組 内容 【R7】	・海外OTAと連携した割引プロモーションの実施 ・特急列車内での観光情報の発信		
	国費・県費	1,500	500						
	市債								
	その他								
	一般財源	1,500	2,500						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.6	0.6	0.6		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.6	0.6	0.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	JR四国との連携プロモーション		目標	14	14	14	14	協定ならではの連携事業を実施し、観光需要を下支えすることができた。	
			実績	14	14				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
成果指標	観光客推定数		目標	6,000,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	JR四国と連携し効果的なプロモーションを行ったことにより、目標を達成することができた。	
			実績	6,003,900	6,358,400				
	単年で増	人	達成率	100%	102.6%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	JR四国観光誘客パートナーシップ協定を締結しているJR四国との連携強化により、より効果的なプロモーションを共同で実施できたため。							
課題	・瀬戸内・松山の周遊ツーリズムの展開 ・インバウンド需要の拡大やユニバーサルツーリズムの推進など観光を取り巻く環境の変化への対応					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	JR四国と連携したプロモーションやイベントの実施等により誘客強化を図ることで、「瀬戸内・松山構想」の推進につなげるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6555
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業(負担金・補助金を除く)	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】「瀬戸内・松山構想」を実現するため、瀬戸内・松山ツーリズムを展開することにより、広域的に観光産業を振興し、地域経済を活性化することを目的とする。				
対象・内容	【対象】 旅行事業者、観光客等 【内容】 ・旅行商品の新規開発・販売促進、着地商品の管理・運営 ・松山市の観光施設等を紹介する広告を松山空港に掲出				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	旅行商品化等事業業務等の委託料		7,499
予算 (千円)	事業費計	13,784	12,046	12,812			観光宣伝の広告料	2,475	
	国費・県費	3,750	3,750						
	市債								
	その他								
	一般財源	10,034	8,296	12,812		観光プロモーション等の出張に係る普通旅費	983		
決算 (千円)	事業費計	14,392	11,805			主な取組 内容 【R7】	・松山関連の着地商品の造成・販売促進 ・交通拠点である空港等への広告掲出 ・観光プロモーション活動		
	国費・県費	3,749	3,750						
	市債								
	その他								
	一般財源	10,643	8,055						
	(執行率)	104%	98%						
人役	正規職員	1.3	1.3	1.3		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.3	1.3	1.3					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	旅行会社等への営業件数		目標	50	50	50	50	商品造成を行う大都市圏の旅行会社だけでなく、九州・中国の旅行会社にも営業活動を行った。	
			実績	60	54				
	単年で増	件	達成率	120%	108%				
成果指標	旅行商品販売実績		目標	6,000	15,000	15,000	15,000	関係団体と連携した旅行商品開発や既存商品のブラッシュアップを行い、販売や誘客促進につなげることができた。	
			実績	14,153	15,311				
	単年で増	人	達成率	235.9%	102.1%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	事業実施の方法等を柔軟に判断することで、当初の計画通り事業を実施することができた。							
課題	・関係機関との連携強化 ・瀬戸内周遊ならではのおもてなしを向上していくような事業の周知・内容の見直し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	関西圏や広島地域などを訪れる国内外の観光客の誘客を図るとともに、鉄道・船舶事業者のほか、航空事業者とも連携し旅行商品を造成していくため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6555
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	瀬戸内・松山観光ビジネス戦略事業 (瀬戸内・松山ツーリズム推進会議)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】広島圏域の自治体、鉄道・船舶・航空事業者と連携し、広島地域及び松山地域の資源を生かしつつ、瀬戸内海が有する魅力を最大限に引き出しながら、広域的な観光産業の振興及び地域の活性化に寄与することを目的としている。 【背景】平成24年6月に、広島圏域(広島市・呉市・廿日市市)の自治体や鉄道(JR四国、JR西日本)・船舶会社(瀬戸内海汽船、石崎汽船)と「瀬戸内・松山ツーリズム推進会議」を設立した。				
対象・内容	【対象】 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議 【事業内容】 瀬戸内・松山ツーリズム推進会議へ負担金を支出し、観光誘客促進を実施する。 ・旅行商品造成の拡充 ・広島圏域の自治体や交通事業者と連携した国内外向けプロモーション ・広島圏域の自治体と連携した修学旅行の誘致活動				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	瀬戸内・松山ツーリズム 推進会議への負担金		18,494
予算 (千円)	事業費計	25,358	23,636	20,106					
	国費・県費	12,258	10,164						
	市債								
	その他								
	一般財源	13,100	13,472	20,106					
決算 (千円)	事業費計	20,280	18,494			主な 取組 内容 【R7】	・旅行会社の仕入担当者の希望を踏まえた テストツアーや首都圏での観光商品説明会 の開催 ・大阪・関西万博の開催に合わせた関西圏 での観光PRイベントの開催 ・助成金(旅行商品造成・修学旅行)の支出		
	国費・県費	9,188	7,779						
	市債								
	その他								
	一般財源	11,092	10,715						
	(執行率)	80%	78%						
人役	正規職員	1.5	1.5	1.5		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	1.5	1.5	1.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	旅行商品造成助成金交付 申請件数		目標	20	20	20	20	観光商品説明会などの効果で目標を達成 することができた。	
			実績	24	26				
	単年で増	件	達成率	120%	130%				
成果 指標	観光客推定数		目標	6,000,000	6,200,000	6,200,000	6,200,000	広島圏域の自治体などと連携し効果的なプ ロモーションを行ったことにより、目標を達 成することができた。	
			実績	6,003,900	6,358,400				
	単年で増	人	達成率	100.1%	102.6%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	瀬戸内・松山ツーリズム推進会議の会員団体である広島圏域の自治体、鉄道・船舶事業者と連携することで、年度当初の計画通り事 業を実施することができた。							
課題	・関係自治体や交通事業者との連携強化 ・時代に適応した効果的なプロモーションの実施					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	関係自治体や交通事業者の強みを活かした 事業を展開し、さらなる観光客誘致につな げていくため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	クルーズ船誘致・受入推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	無し		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	[目的]松山港に寄港するクルーズ船を誘致し、観光交流人口を拡大することによる、地域経済の活性化を目的とする。 [背景]全国的なクルーズ船の運航が増加する中で、本市への寄港誘致を行い、観光交流人口の増加を図る目的で平成30年度に事業化した。				
対象・内容	[対象]松山港に寄港するクルーズ船及び船会社。 [内容]松山港に寄港するクルーズ船に対して、会場設営や観光案内などを設置し、観光地への誘導、消費拡大やクルーズ船の継続的な寄港につなげる。 また、クルーズ船の誘致のために、先進市の取組み等の情報収集に努め、港湾管理者である愛媛県や関係団体と連携を図り、商談会へ積極的に参加し、PRを行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	委託料		31,889
予算 (千円)	事業費計	32,191	40,599	30,671			普通旅費	151	
	国費・県費								
	市債								
	その他	19,445	31,548	22,335					
	一般財源	12,746	9,051	8,336		報償費	14		
決算 (千円)	事業費計	11,621	32,100			主な 取組 内容 【R7】	・クルーズ船が寄港した際に、観光案内などの受入対応を行った。(松山発着を除く) ・船会社や旅行会社に対して、商談会参加や訪問営業を実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	7,323	27,737						
	一般財源	4,298	4,363						
	(執行率)	36%	79%						
人役	正規職員	0.6	1.0	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.6	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	クルーズ船意見交換会参加、視察受け入れ回数		目標	5	10	10	10	商談会等の機会を有効に活用することにより、目標を達成できた。	
			実績	13	17				
	単年で増	回	達成率	260%	170%				
成果指標	クルーズ船受入数		目標	5	10	20	20	愛媛県と連携し効果的に松山観光をPRすることにより目標を達成できた。	
			実績	8	26				
	単年で増	隻	達成率	160%	260%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	積極的に商談会等へ参加し、クルーズ船の誘致を行った結果、26隻の受入となった。							
課題	クルーズ船の受入数は増加しており、乗客の市内周遊や消費拡充につなげていくことが課題					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	乗客の市内周遊策を検討していく

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	坊っちゃん列車運行支援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	-		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】 ・車両のメンテナンス経費を補助することで、坊っちゃん列車を持続可能な運行とするため。 【背景】 ・令和5年11月～人手不足や赤字を理由に本市の観光コンテンツの1つである坊っちゃん列車が運行を休止した。令和6年3月20日から運行が再開されたが、今後も持続可能な運行を続けるために、クラウドファンディングで寄付を募った。				
対象・内容	補助対象:伊予鉄道株式会社 補助対象経費:坊っちゃん列車の車両メンテナンス維持に必要な経費 上限額:補助対象経費の1/2、2,000万円 事業内容:坊っちゃん列車のメンテナンス経費に必要な経費を支援する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	伊予鉄道への補助金		20,000
予算 (千円)	事業費計	17,751	20,000	20,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	17,751	20,000	20,000					
決算 (千円)	事業費計	7,581	20,000			主な 取組 内容 【R7】	伊予鉄道株式会社に松山市坊っちゃん列車 メンテナンス事業費補助金を支出した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	7,581	20,000						
	(執行率)	43%	100%						
人役	正規職員	0.5	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	補助金の適正交付 (回数)		目標	-	1	1	1	補助金を適正に交付することができた。	
			実績	-	1				
	現行のまま継続	回	達成率	-	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	坊っちゃん列車を安全に運行できるよう補助金を適正に交付することができた。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	今後も坊っちゃん列車を安全に運行できる よう補助金を支出するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	瀬戸内観光・MICE担当	連絡先	948-6557
------	-------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	MICE誘致促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令			
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】コンベンションをはじめとするMICE誘致により、交流人口の拡大及びこれに伴う地元地域経済効果の拡大を目的とする。				
対象・内容	【対象】 庁内各部署、松山観光コンベンション協会、県内の他市町及び県外近隣都市 【内容】 1. MICE誘致に向けた情報収集・情報発信 行政関連のMICE情報を収集し、庁内各部署と連携して誘致活動を行う。併せて本市でのMICE開催支援・受入情報などを積極的に発信する。 2. MICE参加者の満足度の向上と開催効果の拡大 松山観光コンベンション協会との連携により、大会参加者の満足度向上に資するコンテンツ開発等を行うとともに、更なる効果拡大を図るため国際会議など誘致・受入環境を強化する。 3. MICE誘致のための産官学連携の強化 県内の他市町及び県外近隣都市との行政間の連携による面的なMICEの推進を図る。また、大学開催時の地元キーパーソンとなる地元大学等との情報共有・連携を強化する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	第17回アジアテレビドラマカンファレンス開催等に伴う負担金		37,620
予算 (千円)	事業費計	6,794	86,793	4,217			海外向けミーティング・インセンティブ旅行等開発業務等の委託料		3,114
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	6,794	86,793	4,217		MICE誘致活動等の出張に伴う普通旅費		974	
決算 (千円)	事業費計	5,542	41,973			主な取組 内容 【R7】	・ミーティング・インセンティブ旅行の誘致に向けたコンテンツ開発 ・国際MICEエキスポなど商談会への出展及び営業 ・企業版ふるさと納税を活用した大会の誘致及び開催		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,542	41,973						
	(執行率)	82%	48%						
人役	正規職員	1.5	1.5	2.0		特記事項	・企業版ふるさと納税を活用して開催する大会で、主催者の見込みより寄附が集まらなかったため。		
	その他	0.5	0.5	0.0					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和10年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	商談会に参加した件数		目標	3	7	10	10	・コンベンション協会と連携した新たな商談会への参加	
			実績	3	7				
	累計で増	回	達成率	100%	100%				
成果 指標	コンベンション開催件数		目標	90	100	110	160	・コンベンション開催助成金の見直し ・観光庁支援事業を通じた地元ステークホルダーとの連携体制の構築	
			実績	107	126				
	単年で増	件	達成率	119%	126%				
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	コロナ禍後、順調にコンベンション開催件数は増加し、令和7年度はコロナ禍前の開催件数を上回り、国際会議についても大きく増加し、松山観光コンベンション協会が令和10年度のKPIとして掲げる開催件数を前倒しで達成している。 また、観光庁支援事業の採択を受け、国際会議をはじめとするMICE誘致のための情報収集及び営業についても強化できたため。							
課題	・MICE開催都市としての認知度の向上					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	継続的なコンテンツの磨き上げと、多くの主催者への営業が必要であるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	インバウンド誘致	連絡先	948-6986
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	広域連携による誘客推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		○	○	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠法令	無し		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】他の自治体や民間事業者などと広域連携を行うことで、効果的かつ戦略的に観光プロモーションを行い、誘客を促進する。 【背景】 ・令和6年5月に設立された「西のゴールデンルートアライアンス」に参画し(令和6年7月)、欧米豪のインバウンドを主な対象として行う、西日本・四国・九州方面への誘客につなげる各種プロモーションに対する応分負担として、負担金を支出している。 ・令和6年4月に設立した「温泉ツーリズム推進協議会」が行う、令和7年4月から開催された大阪・関西万博やその後のインバウンドの誘客に対する応分負担として、負担金を支出している。				
対象・内容	【西のゴールデンルートアライアンス】 【対象】西のゴールデンルートアライアンス(西日本の自治体や民間事業者などで構成) 【内容】西のゴールデンルートアライアンスに負担金を支出し、欧米豪旅行者や高付加価値旅行者をメインターゲットに、プロモーションやWEBサイトなどで情報発信を行うなど、西日本地域を面と捉え、本市を含む西日本地域の各地の特徴や魅力をPRし誘客に取り組んでいる。 【温泉ツーリズム推進協議会】 【対象】温泉ツーリズム推進協議会(大阪観光局と全国の温泉地の自治体で構成) 【内容】温泉ツーリズム推進協議会に負担金を支出し、国内外からの観光客に対し、各温泉地への誘客と日本ならではの体験を促すほか、それぞれの温泉の特色や歴史、文化、温泉地の景観といった特長を日本の魅力として世界に発信する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	西のゴールデンルートアライアンス及び温泉ツーリズム推進協議会への負担金		12,000
予算 (千円)	事業費計		11,230	7,457			観光プロモーション等の出張に係る普通旅費		924
	国費・県費						ノベルティ購入に係る消耗品費		80
	市債								
	その他								
	一般財源		11,230	7,457					
決算 (千円)	事業費計		13,011			主な 取組 内容 【R7】	【西のゴールデンルートアライアンス】 ・大阪・関西万博共同出展 ・訪日メディアと連携した情報発信やキャンペーンの実施、セールスツール制作など 【温泉ツーリズム推進協議会】 ・大阪・関西万博での観光PRブースの出展 ・温泉シンポジウムの開催など		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源		13,011						
	(執行率)	0%	116%						
人役	正規職員					特記 事項			
	その他								
	合計	0.0	0.0	0.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	欧米豪からの観光客数 (年:推定値)		目標	-	43,000	70,000	70,000	協議会の同団体に参画する自治体や民間事業者などと連携し、プロモーションを行うことができた。	
			実績	-	69,700				
	現状維持	回	達成率	-	162%				
成果指標	観光客推定数 (年:推定値)		目標	-	6,200,000	6,200,000	6,200,000	同団体に参画する自治体や民間事業者などと連携し効果的なプロモーションを行ったことにより、目標を達成することができた。	
			実績	-	6,358,400				
	単年で増	人	達成率	-	103%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	西のゴールデンルートアライアンス及び温泉ツーリズム推進協議会により、効果的なプロモーションを行うことにより誘客が促進され、目標とする観光客数を上回ることができた。							
課題	・広域連携の強みを活かしたプロモーションの強化					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	参画団体や関係団体の強みを活かした事業を展開し、さらなる観光客誘致につなげていくため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	渡船管理事業	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	2:委託
0521					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	人を引き付けるまちの魅力向上	根拠 法令	松山市鹿島公園渡船施設使用料条例、松山市鹿島公園渡船施設使用料条例施行規則		
主な取組	広域的な視野に立った観光・MICE誘客の推進				
目的・背景	【目的】渡船の運航や乗客の安全を確保するなどし、鹿島への誘客と利便性を向上する。 【背景】鹿島への公共交通機関として市が渡船業務を開始した。				
対象・内容	【対象】 渡船利用者、事業者 【内容】 渡船の運航に係る管理、点検(遊覧船を含む)、渡船施設、駐車場の維持管理を行う。 渡船運航、渡船施設の管理を民間事業者に委託している。 ・鹿島渡船運航業務委託:あいらいん株式会社 ・鹿島渡船施設管理業務委託:松山市シルバー人材センター				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	鹿島観光事業特別	款	渡船管理事業費	項	渡船管理事業費	目	渡船管理事業費	
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	鹿島公園渡船及び三津の 渡し運航業務委託料		10,618	
予算 (千円)	事業費計	33,300	37,700	50,200			船舶修繕料	8,738		
	国費・県費							鹿島公園渡船施設管理業務委託 料		
	市債									
	その他	33,300	37,700	50,200						
	一般財源									
決算 (千円)	事業費計	33,171	35,695			主な 取組 内容 【R7】	渡船運航及び渡船施設管理を行った。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	33,171	35,695							
	一般財源									
	(執行率)	100%	95%							
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項				
	その他	0.5	0.5	0.5						
	合計	1.3	1.3	1.3						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	渡船利用者数		目標	55,000	55,000	55,000	55,000	夏場の酷暑で来島者が減ったことや、冬場の強風で渡船の運休が増えたことが原因と考えられる。	
			実績	38,822	38,252				
	単年で増	人	達成率	71%	70%				
成果指標	事故件数		目標	0	0	0	0	無事故を継続できた。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	昨年度と比較し来島者数が減少しているものの、渡船の安全管理を適切に行い、無事故で運航することができたため。							
課題	物価や人件費の高騰により、委託料及び船舶修繕料などが増加傾向にある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	鹿島への唯一の公共交通として、渡航手段を維持するため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業（日本観光振興協会運営事業）	事業性質	1-1:自治事務（実施規定なし）	事業区分	5:補助金・負担金
0599					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画（実施計画）	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		－	－	
施策	その他	根拠法令			
主な取組	その他				
目的・背景	【目的】日本観光振興協会との連携を通じ、本市の観光振興及び観光産業の発展を図る。 【背景】日本観光振興協会は、観光に関する中枢機関として魅力ある観光地域づくり、広域観光ルートの整備、観光交流の活性化等各種の事業を行っている。本市においても、同協会の全国的なネットワークや各種取組を活用し、観光振興を進めるため、同協会に加入している。				
対象・内容	【対象】日本観光振興協会 【内容】観光地域づくり、観光交流の活性化、観光情報の収集・提供、人材育成等の全国的な観光振興事業を行う日本観光振興協会に負担金を支出する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	負担金		324
予算 (千円)	事業費計	324	324	324					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	324	324	324					
決算 (千円)	事業費計	324	324			主な取組 内容 【R7】	愛媛県内への観光客のあっせんや、県産品の紹介宣伝・販路拡大などのあっせん・指導等		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	324	324						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担金の適正執行		目標	1	1	1	1	負担金を適正に支出できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、日本観光振興協会の活動を行うことができたため。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き観光振興につなげるため、負担金を支出する。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	誘客・賑わい創出	連絡先	948-6558
------	-------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業 (道後にきたつの路日曜朝市開催事業)	事業 性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業 区分	5:補助金・負担金
0599					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種 計画 該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	その他	根拠 法令			
主な取組	その他				
目的・背景	〈目的〉 古くから観光客や市民に愛され続けている道後地域に、新たな魅力を創出する。				
対象・内容	【対象】 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会 【内容】 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会に負担金を支出。 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会は、毎月第4日曜日(8月を除く)に、「道後にきたつの路」で、地元産の新鮮な野菜や、手作りの弁当などを観光客に販売し、道後の魅力を発信する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	実行委員会の事業実施に 対する負担金		540
予算 (千円)	事業費計	540	540	540					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	540	540	540					
決算 (千円)	事業費計	540	540			主な 取組 内容 【R7】	毎月第4日曜日(8月を除く)に「道後にきたつの路」で朝市を実施。 上記を行う交付先 道後にきたつの路日曜朝市実行委員会に負担金を支出。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	540	540						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	出店店舗 (テナント)		目標	200	200	200	200	連休に重なる日程が多かったことや、天候に恵まれ中止もなかったため。	
			実績	203	217				
	現状維持	張	達成率	102%	109%				
成果指標	来場者数		目標	22,000	22,000	22,000	22,000	連休に重なる日程が多かったため。特に3月は道後温泉まつりと同日開催で約5000人の来場があった。	
			実績	19,323	23,028				
	単年で増	人	達成率	88%	105%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	新規出店者の開拓やSNSでの発信を強化するなど、前年より多くの出店店舗及び来場者が訪れ、交流人口の拡大に貢献しているため。							
課題	時代の変化にあわせた効果的なPR手法を継続的に検討する必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き道後の新たな魅力づくりの場を提供し、道後の交流人口拡大を目指すため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名 0599	観光総務事務事業（愛媛県観光物産協会運営事業）	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	その他	根拠法令			
主な取組	その他				
目的・背景	【目的】愛媛県観光物産協会は愛媛県の観光客誘致促進、観光物産・観光振興などの中核的機関として位置づけられているため、愛媛県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて国民の健全な観光旅行の普及発展と国際観光の振興を促すとともに、国民の生活、文化及び経済の向上発展、国際親睦並びに愛媛県産業の振興と県民福祉の向上に寄与することを目的とする。				
対象・内容	【対象】 (一社)愛媛県観光物産協会 【内容】 (一社)愛媛県観光物産協会に会員である松山市が負担金を支出。 それに基づき、愛媛県観光物産協会では、県内外の観光客の誘致、観光物産、観光文化の振興、県産品の紹介宣伝、販路拡大、品質改善、観光振興のためのイベントの実施等を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	負担金		445
予算 (千円)	事業費計	445	445	445					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	445	445	445					
決算 (千円)	事業費計	445	445			主な取組 内容 【R7】	(一社)愛媛県観光物産協会に会員である松山市が負担金を支出。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	445	445						
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	0.2	0.2	0.2					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	負担金の適正執行		目標	1	1	1	1	負担金を適正に執行できたため。	
			実績	1	1				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	滞りなく負担金を支出し、愛媛県観光物産協会の活動を行うことができたため。							
課題	特になし					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	引き続き観光振興につなげるため、負担金を支出する。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	観光・国際交流課	担当G	総務	連絡先	948-6556
------	-------	-----	----------	-----	----	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	観光総務事務事業（JR松山駅観光案内所業務）	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
0599					
政策【分野】	ワクワクを全国・世界へつなぐ【都市の魅力】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	松山ファンが増えて、集まってくる		—	—	
施策	その他	根拠法令			
主な取組	その他				
目的・背景	【目的】陸の玄関口であるJR松山駅構内に観光案内所を設置し、観光客の利便性を向上する。				
対象・内容	【対象】 四国旅客鉄道株式会社 【内容】 ・観光客の窓口として観光案内及び宿泊所案内を実施(松山観光コンベンション協会運営) ・観光案内所は、JR松山駅構内にあり、市が賃貸借契約を結んでおり、同施設の光熱水費・賃借料について負担している。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	使用料及び賃借料		1,214
予算 (千円)	事業費計	6,215	1,283	1,283			光熱水費		35
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	6,215	1,283	1,283					
決算 (千円)	事業費計	5,954	1,249			主な 取組 内容 【R7】	・JR松山駅観光案内所の光熱水費・賃借料の支払い ・観光客の窓口として観光案内及び宿泊所案内(松山観光コンベンション協会運営)		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	5,954	1,249						
	(執行率)	96%	97%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記 事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価（検証・改善）【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	案内件数		目標	29,000	29,000	29,000	29000	令和6年度は、新たにJR松山駅観光案内所がオープンしたことにより案内人数が多かったと思われる。	
			実績	21,165	16,665				
	単年で増	件	達成率	73%	57%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	観光客に対して、観光案内所としての用務を果たしているため。							
課題	案内所のスペースや対応人員数が限られているため、JR到着時に一度に問い合わせが押し寄せるとお待ちいただく時間が出る。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、観光案内等を行い、観光客の利便性の向上を目指す。 JR松山駅観光案内所を維持・継続していく。